



# 福島南ロータリークラブ

事務局/〒960-8151 福島市太平寺字通吹 6-2 ザ・36・メイファイブ 1F2号室  
 tel. 024-546-3793 fax. 024-545-7878  
 例会場/サンパレス福島 〒960-8101 福島市上町 4-30  
 tel. 024-523-3811(代) fax. 024-23-0375  
 HP アドレス <http://www.inaka.ne.jp/f-southrotary/index.html>



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

2011年—2012年 RI テーマ

■会長：高橋和之 ■幹事：菅原節子  
 ■会報委員長：松崎弘昭 ■副委員長：鈴木光一  
 ■委員：丹治智幸 丹治洋子 福田昌明

## 第45回例会

平成24年6月20日(水) サンパレス福島

■メークアップ/19名 ■修正/66名 ■修正率/100% ■会員/66名 ■出席/48名 ■出席率/72.73%

### 本日のプログラム

- 1 開会点鐘
- 2 来訪者紹介と会長挨拶
- 3 次年度地区委員長・委員 挨拶  
職業奉仕委員会、国際奉仕委員会  
クラブ活性化支援・広報委員会  
ライラ委員会、米山記念奨学会学友委員会
- 4 クラブ協議会・活動報告②  
奉仕プロジェクト管理委員会  
職業奉仕委員会、社会奉仕委員会  
国際奉仕委員会、新世代奉仕委員会  
ロータリー財団委員会、米山記念奨学会委員会  
復興支援室、クラブビジョン委員会  
ゴルフ部会、ソフト部会
- 6 閉会点鐘

### 今月・来月のプログラム

- 6月27日(水) 夜間 新旧委員会歓送迎会  
「桑折町・うぶかの郷」
- 7月4日(水) クラブ協議会 会長・幹事挨拶  
前年度各委員会表彰・誕生者お祝い
- 7月11日(水) ガバナー公式訪問  
「ロータリーの友」読みどころ
- 7月18日(水) クラブ協議会・活動計画発表①第2回理事会

### 今週のトピックス

消費税法案に対する対応が、政局化している。20年間、日本は政治空白時代を過ごしている。それでも、頑張ろう！私たち！！

## ◆会長あいさつ◆



### 高橋 和之 会長

先週の6月10日から16日の一週間、「学生の力で世界と繋がろうプロジェクト」が実行されました。会員の皆様から総額94万8千円のご支援を頂きましたお陰で、無事終了いたしました。先ずもって感謝のご報告です。ありがとうございました。

国内学生20名とマレーシア・インドネシア・台湾の学生各1名、福島大学実行委員11名で総勢34名でした。一週間の研修ツアーカリキュラムは、相馬・浪江・飯館村の被災地視察や農業体験等のほか、「…外から見たFUKUSHIMA～今、あなたは福島をどう思いますか」等、多くのワークショップも取り入れた内容でありました。6月14日は当ロータリークラブの会員も交えて「…理想のふるさととは」のワークショップも行いまして、若者と意思の疎通も図られ有意義な時間でした。海外学生3名のホームステイには鈴木定男会員、吉田和義会員、林克重会員のご協力を頂きました。ありがとうございました。

6月16日の最終日は、二本松男女共生センターに於いて、総まとめの報告会がありました。報告会は4班に分かれてそれぞれの感性でまとめられたもので、時間を大幅に延長した白熱した報告会でした。内容的

には、『テレビ等のマスコミを通して知りえた情報は、遠くに感じていたが、直接に見聞きしたことで放射線の恐ろしさをじかに感じた。』『今までは原発は一時的ならば良いのではないかと考えていたが、原子力に依存しない、安全・安心で持続的な再生可能エネルギーにしなければならない。』と、行政志望の京都の学生の発言もありました。また、『「風評被害」というのは、近いとか遠いに関係なく、人それぞれの感じ方で決まるので「風評加害」は存在しないのではないのか』という発表もありました。その他多くの切り口から、「被災地FUKUSHIMA」を若者の肌で感じた新鮮な報告会でありました。学生達は故郷に戻り、見聞きした情報と感性で、福島の実状を多くの人々に伝えてくれるだろうと思える、想像していた以上のプロジェクトでありました。皆様のご協力に感謝申し上げます。

今年度のスマイリング特別基金ですが、先週の理事会で150万円とすることに決定致しましたのでご報告致します。皆様のスマイリング奉仕に感謝申し上げます。以上で会長挨拶と致します。ありがとうございました。

(サンパレス福島様より、1年間の感謝を込めて、会長・幹事に、ケーキデコレーションのプレゼントがありました。)



## ◆次年度地区委員長・委員 挨拶◆

### 職業奉仕委員会 野地 利雄 委員長



職業と奉仕とが結びつくことが難しいと感じております。クラブの委員会と連携しながら、1年間、全うできるように頑張ります。

### 国際奉仕委員会 斎藤 浩 副委員長



RI会長エレクトが話しているように、国際親善友好に気を配って、出来るだけ、多くの外国人と交流が図れる活動をして参ります。

### クラブ活性化支援・広報委員会 林 克重 委員



「活性化」と「広報」という内と外という2つの面を担当させていただきます。一所懸命務めさせていただきますので、よろしくお願い致します。

### ライラ委員会 伊藤 弘子 委員



4年目のライラ委員を務めさせていただきます。新世代に対して、将来の準備をさせる支援や指導を目的として活動をさせていただきます。

### 米山記念奨学会学友委員会 富田 健三郎 委員



米山奨学会活動そのものが、来年度テーマのピースフル・サービスで、さらに、救済型奨学金支援だったのが、知的貢献支援に変換されます。

## ◆クラブ協議会・活動報告②◆



各委員会・室長の皆様方、1年間、お疲れさまでした。

### 奉仕プロジェクト管理委員会・復興支援室

#### 廣澤 俊樹 委員長

復興支援として、東京日本橋東や東京麹町、京都洛中 RC の支援活動の受け皿をさせていただきました。また、6月には、学生プロジェクトを開催しました。このプロジェクトは、今回の震災において、福島県に住む者が、何かやらなければならないという想いでした。49名から94万8千円を頂き、活動が出来ました。ありがとうございました。

### 職業奉仕委員会 金子 親房 委員長

活動内容は3つ。1つは、4つのテストの音頭を輪番で行い、唱和とロータリー倫理訓の進行。2つ目は、企業訪問を3回実施。3つ目は、職業奉仕月間に、地区篠木勝司委員長の講話。多分に、やり残しの反省がありますが、1年間、ご支援とご協力に感謝します。

### 社会奉仕委員会 福田 順一 委員長

猪苗代湖環境保全作業には14名の会員に参加頂きました。リトルリーグ大声杯の開催、社会奉仕活動は、東京日本橋東、京都洛中、東京麹町 RC からの車いすやリフトカーなどを社協に届ける活動が出来ました。1年間、大変お世話になりました。

### 国際奉仕委員会 菅野 良二 委員長

国際奉仕旅行は、ハワイホノルルサンライズ RC からの義援金が縁で2月に実施出来ました。また、福大生等向けに、5回連続国際奉仕セミナーを開催し、そのセミナーがきっかけとなり、9月に、フィリピンへ国際奉仕旅行を実施することになりました。

### 新世代奉仕委員会 伊藤 弘子 委員長

IAC 例会の充実に重点を置き、地区の IAC 年次大会やリーダー研修会等に参加し、ペットボトルキャップ集めなどで社会奉仕委員会と連携し「ロータリーの友」配布で、学校等へ RC 活動の理解を高める活動をしました。1年間、ありがとうございました。

### ロータリー財団委員会 高橋 勇雄 委員長

2つの目標を設定しました。1つは、全会員の年間100ドルの寄付を目指しました。合計では、達成しましたが、個々では課題がありました。ベネファクターにチャレンジ！これは、恒久基金1,000ドル以上で、宍戸英男様と高橋和之様とにご協力頂きました。

### 米山記念奨学会委員会 国分 秀夫 委員長

今年度は、奨学生の受け入れはありませんでした。寄付金は、現在98万9千円となっています。米山功労者は、宍戸英男様と植木洋司様が達成されています。米山奨学会へのご理解とご協力を頂き、感謝します。

### クラブビジョン委員会野地 利雄 委員長

組織構成上、理事会の上位にあり、クラブに対して答申をする役割でした。会員の皆さんへ3項目にわたって意向調査をさせていただきました。この結果を、次年度へ託し形とさせていただきます。

### ゴルフ部会 橋脇 英行 部会長

部会員22名とゲスト4名で活動をしました。計6回の開催でした。最終戦は、6月24日に開催され、成績発表は、最終例会にて発表となります。

### ソフト部会 富田 健三郎 委員

5月に東北第一分区の大会が開催され、中央 RC と合同のチームを編成して参加しました。最終回まで、優勢でしたが、劇的な結果にして敗戦となりました。

## ◆スマイリングボックス◆

活動報告ありがとうございます。高橋 和之 会長  
活動報告②宜しくお願いします。菅原 節子 幹事  
各委員長の皆様、活動報告ごころう様、又 7月7日皆様大声杯よろしく 富田 健三郎 委員  
本日は社会奉仕委員会一年間活動報告をさせていただきます。本  
当にお世話になりました。福田 順一 委員

スマイル 39,000円 累計 1,899,873円  
財団・米山 39,000円 累計 1,895,000円

## ～一週一言～

### 家庭教育

あらゆる教育家・教育学者は、「教育はやっぱり家庭教育である。学校教育は家庭教育でできたものを受け取って、これに手入れをするところだ」

安岡 正篤 一日一言より

## ―編集後記―

1年間、広報委員を務めさせて頂き、感謝します。委員長始め、委員のご協力で、最終担当号を終えることが出来ます。ありがとうございました。